## 「新たな賑わい」の 将来像を考える事例集

第 4 回 町田市庁舎跡地等検討委員会

### 1 子どものための 施設による「賑わい」

- 子どもにさまざまな体験ができる施設を導入
- ●子どもとその保護者が多数集まり、 交流する賑わい

## 東京都江東区「キッザニア」

子どものための職業訓練施設。働くことでキッゾ(専用通貨)が支給され、買物や習い事ができる。

保護者はパビリオンの中には入れず、子どもだけで過ごさなければならない。

「こども議会」が主体となりイベントや街づくりなどを企画する。





【まちの様子】



【アイスクリーム屋】



【宅配便】

【ガソリンスタンド】

#### 川崎市多摩区 「藤子・F・不二雄ミュージアム」 (基本構想)

- 「ドラえもん」などで知られるまんが家、 藤子・F・不二雄氏をテーマとしたミュージ アム
- 原画の展示の他、同氏の作品世界が体験できる展示・イベント等を実施。子どもも大人も楽しめる施設

現在、生田緑地に建設中、平成23年9月3日 開館予定



【藤子氏愛用の机を展示する「先生の部屋」】



【屋上ひろば】



【代表作の原画などを展示する「展示室」】

# 東京都杉並区「ゆう杉並」

- 「児童青少年センター」と「男女平等推進 センター」の複合施設
- 中・高校生にとって魅力ある施設をめざし、 広い体育室や完全防音のスタジオなどを設置

利用者自身の声を生かすため「中・高校生 運営委員会」の設置や、自主企画事業への 積極的な支援を行っている



【多目的ホール】



【交流スペース】



【貸しスタジオ】



【体育館】

## 2 人や文化を育む 拠点としての「賑わい」

- ●市民の文化活動、生涯学習活動、創作活動を行う施設を導入
- ●様々な文化活動を行う人、活動を支える人、 観賞する人が集まり、交流する賑わい

#### 東京都大田区 「大田文化の森」

大田区役所移転による跡地を文化施設として活用

ホール、情報館(図書コーナー、マルチメディアコーナー)を始め、区民の多彩な文化活動に利用できる施設

運営に公募の区民が参加。また、「文化プレーヤー」と呼ばれるボランティアスタッフが多岐にわたる活動に携わっている



【多目的室】



【文化の森ホール】



【施設全景】



【収穫祭(文化プレーヤーによるイベント)の様子】

#### 仙台市青葉区 「せんだいメディアテーク」

- ライブラリー、ギャラリー、シアター、スタジオなど、人々の文化活動へ、情報や、空間(表現・活動)を提供する施設
- 管理運営は市から指定管理者の指定を受け、 財団法人仙台市市民文化事業団が行う

• 設計段階から市民や利用団体へヒアリングを行い(わいわいトーク)、バリアフリーも含め、可能な範囲で利用者のニーズに答えた



【施設全景】



【1F エントランス】



【3~4F ライブラリー】



【6F ギャラリー】

# 石川県金沢市 「金沢21世紀美術館」

- コンセプトは「まちに開かれた公園のよう な美術館」
- まちの広場として、教育、創造、エンター テインメント、コミュニケーションの場を 設置

展示会ゾーン(有料)と交流ゾーン(無料)に分かれている



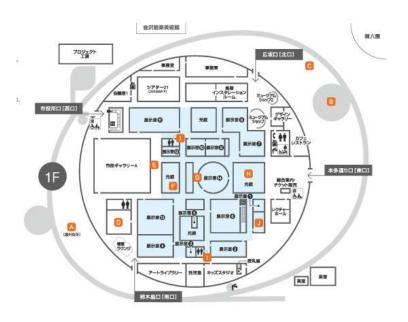
【施設全景】



【施設内観】



【図書スペース】



【平面図(青:有料ゾーン、 白:無料ゾーン)】

#### 東京都杉並区 「座•高円寺」 (杉並区立杉並芸術会館)

- 特徴の違う3つのホールを中心とした区立 の複合施設
- 優れた舞台芸術作品の上演、ワークショップやレクチャーなどの教育普及活動、国内外の劇場とのネットワーク事業を実施
- 「東京高円寺阿波おどり」の普及振興と、 ダンスやパフォーマンスの上演もできる 「阿波おどりホール」を設置
- 杉並区在住の著名演劇人が館長、芸術監督 をつとめ、芸術系NPOが指定管理者として 企画・運営を行う



【広場でのイベント風景】



【座・高円寺2】 (固定席のホール)



【座・高円寺 1 】 (可変性のあるホール)



【阿波おどりホール】

## 3 憩い・交流の場としての 「賑わい」

- ●多目的に使える自由度の高い広場等を設置、 各種イベントを行う
- イベントに参加する人々の交流で、 新たな活動が生み出される賑わい
- イベントを通じ、様々な人々による 多様な交流が生まれる場となる
- ●イベントを企画・実行する仕組みが必要

#### 富山県富山市 「富山グランドプラザ」

- 2つの再開発事業に挟まれた道路を、道路 認定を外し「広場」として整備した
- 初期段階から設計者と行政が市民の意見を 聞き、細部にまで反映させている
- 運営事務所のスタッフには、イベント経験 豊富な人材を配置している
- 広場は、憩いのスペースやイベント会場など、多様な使い方が可能であり、年間利用者数は300万人を超える(平成19年調査)
- 市民のアイデアを企業が支援し、実現する 「マッチング事業」を展開している





【施設全景】

【施設内観】



【物産展】



【ワールドカップ観戦】



【子どもイベント】



【成人式時のイベント】



【スケートリンク】



【企業セレモニー】

#### 埼玉県さいたま市 「けやきひろば」

- さいたまスーパーアリーナに隣接し、JRさいたま新都心駅につながる2階の人工地盤上を広場とした
- 1年を通して、フリーマーケット、音楽や 大道芸などのパフォーマーによって多彩な イベントが提供
- 1年に1回、水かけまつり、ワールドフェスタ、大道芸フェスティバルなどの大きな催しが開催される



【けやきひろばの様子】



【フリーマーケットの様子】



【ストリートパフォーマンスの様子】



【イルミネーションの様子】



【朝市(月に1回)の様子】



【ビアフェスタの様子】



【浦和レッズエンジョイサッカー】



【子ども向けイベント】

# 4 日常的な来街者を増やす「賑わい」

- ●学校、店舗、子育て支援施設など複数の用途を 導入、複合施設として日常的な来街者を増やす
- ●働く人・学ぶ人の交流で新たな人材や文化が 生み出される賑わい

#### 群馬県前橋市 「前橋プラザ元気21」

- 市の中心地に立地する大規模店舗ビル跡を 改装した、中心市街地再生の拠点
- ・施設内には

こども図書館・子育てひろばなど子育て支 援施設

生涯学習課/中央公民館 にぎわい観光課/観光コンベンション協会 市民活動支援センター などを併設

スーパーマーケット、カフェ、専門学校などもテナントとして入居



【施設全景】



【こども図書館】



【専門学校施設】



【子育てひろばプレイルーム】

#### 青森県青森市 「パサージュ広場」

青森市中心市街地の路地や小径をつないで 散歩を楽しみ、まちを楽しむ空間にしよう という中心市街地活性化計画「パサージュ 構想」の展開のひとつ

・商業ベンチャー支援事業として、仮設実験店舗に出店した商業ベンチャーに対して経営指導や開業支援等を行っている

運営は商店街関係者が市内の商店街に出資を呼びかけて設立された有限会社が担っている(市が委託)



【施設全景】

#### ショップ H44 ジンギスカン料理 チャレンジ ショップ マッサ テラス ギャラリー (11#)

【平面図】

#### 【実験店舗入居事業者の概要】

- ・(飲食系):パスタ、カレー、各国料理専門店、各地のアンテナショップ、 商業高校チャレンジショップ、等
- ・(物販系):子供服リサイクルショップ、等
- ・(その他):リラクゼーションマッサージ、英国式マッサージ、人材派遣仲介、等

#### 東京都三鷹市 「SOHOパイロットオフィス」

- 「SOHO CITYみたか構想※」の基盤施設
- ※SOHOワーカーを中心として新たな産業の 創出と新事業へ進出する企業や事業者の支援を行い市の活性化をめざすもの

- 施設の使用期間は5年を限度とし、使用契約は3年更新(更新料は無し)
- 管理運営は、三鷹市の第3セクターである 「株式会社まちづくり三鷹」が担う



【室内の様子】



【室内の様子】





【平面図】

#### 5 その他事例

- ●市民協働による地域交流拠点の整備
- ●都市に自然を取り込んだ地域交流拠点の整備

#### 長野県茅野市 「茅野市民館」

- 基本構想を創る段階から専門家とともに、 市民主導で検討を行った。市民協議では図書館、ホールなど機能ごとに異なる人との 協議を行い、中高生とのワークショップの 場も設けた
- 「市民の生涯学習や、地域文化創造の交流 拠点」と位置づけ、「住む・商う・憩う・ 集う」が融合した地域交流拠点として整備
- 「新市民会館管理運営計画」をまとめ、指 定管理者制度により設立された第3セク ターが管理運営を行う



【施設全景】



【ロビーライブ】



【中庭より望む】



【図書スペース】

# 福岡県福岡市「アクロス福岡」

県施設と民間施設(オフィススペース・商業施設)が同居した公民複合施設

国際・文化交流の拠点を目指し、旧福岡県 庁跡地に建設された。天神中央公園が隣接 している

「山」をコンセプトとした大規模な屋上緑化がされ、公園と一体となったランドスケープを構成している



【前面道路より望む】



【公園側より望む】



【公園との連続性に配慮】



【施設内観】

# 福岡県福岡市「ぐりんぐりん」

「人工の丘」をイメージさせる屋根によって全体的に繋がりを持ちつつも、フリースペース・ワークショップスペース・植生スペースの3つのブロックに分かれている

屋上は緑化され、歩行が可能になっている (天窓上は歩行不可)

住民・ボランティア・NPO、事業者など が関わりあいながら運営を行う



【施設全景】





【フリースペース】

【植生スペース】